



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさを拓く子ども



安全で楽しい夏休みを！

～明日から37日間の
夏休みがスタート～

明日から待ちに待った夏休みが始まります。
この1学期も新型コロナウイルス等の予防に気を配りながらの生活ではありましたが、大きなけがや病気、事故もなく1学期を無事に終えることができました。これも保護者の皆様のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

この1学期、子どもたちは一つ上の学年となり、新しい環境での授業や友達との関わり、学校行事等を通して様々なことに挑戦し、成長してきました。夏休みは普段できないことにチャレンジするよい機会でもあります。おうちでの役割を任せるなど、何か一つ取り組ませていただければと思います。

また、夏休みには、楽しい出来事も多く、開放的な気持ちが強くなりがちです。思わぬけがや事故に巻き込まれる危険性も高くなります。各学級や地区児童会においても夏休みの生活について確認してあります。7月10日に「夏休みの約束」も配付しておりますので、今一度ご確認ください。全校65名の児童一人一人にとって、有意義で事故のない夏休みとなることを願っています。



次のような場合は連絡を（電話・メールどちらでも）

- ★事故や事件にあった場合
- ★大きな病気やけがをした場合
- ★新型コロナウイルスに感染した場合
- ★困ったことや相談したいことがある場合
- ★転校する場合

※8月7日（月）から8月15日（火）は学校閉庁日ですので、メールでの連絡を



<夏休みの生活を充実させるために考えていただきたいこと>

「ネット依存」、最近よく耳にする言葉です。ネット依存とは、「やめられない」、「常にそのことを考えてしまう」、「過度に利用してしまう」などの状態で、日常生活や社会生活に障害が起き、自分の力ではコントロールできなくなる状態です。自律神経のバランスが崩れ、体調不良になったり、現実の自分とネット上の自分の区別ができなくなったりすることもあります。バーチャル（実体を伴わない）の友達は増えますが、現実の友達が少なく、人間関係が希薄になってしまいます。

家族関係や友人関係での寂しさや、自分が認められていないという不満があるとのめり込みやすいつのことでありますが、こうなる前に、時間制限やパスワード管理はもちろん、親子の会話を大切にしていける家庭環境づくりにも気を配っていただきたいと思います。

ついでに・・・ **ネット依存と身長の関係について（必読!!）**



どうしたら身長は伸びるのでしょうか？骨の成長のためには成長ホルモンが大切です。このホルモンの働きにより、軟骨が成長して身長が伸びるのです。22時から2時が成長ホルモンの分泌のピークです。成長ホルモンは寝付いてから2時間くらいまでの一番深い眠りのときに分泌されます。そのため、午後9時以降は激しい光の刺激を控えることが望まれます。

では、「強い光」とは何でしょう？それは、テレビやインターネット、ゲームなどの光です。そう考えると、自分で自分の伸びしろを削ってはいないでしょうか？自分の生活を振り返ってみましょう。

山びこ集会

〈低学年団〉



7月14日(金)の朝、各学年団ごとに集会を行いました。
 低学年団…国語の作文の紹介(1年)とお薦めの本の紹介(2年)
 中学年団…お薦めの本の紹介(3年)とふるさとカルタの紹介(4年)
 高学年団…英語のオンライン授業で発表する内容の紹介

〈中学年団〉



〈高学年団〉





今週の一枚

学校玄関前のアジサイです。アジサイは、もともとは日本固有の植物ですが、今、目にするアジサイは西洋で品種改良され、より色鮮やかになり、逆輸入されたものなのだそうです。

お寺にたくさん咲いているイメージがありますが、昔、日本各地で梅雨時期に流行病が広がり、大勢の死者が出て、それを慰めるためにお寺にたくさん植えられたとのこと。さらに育てやすさもあり、広く根付いたようです。

アジサイの花は、実は花びらではなく、大きくなった「がく」で、本来の花は中心部で小さく自立しません。また、アジサイの葉やつぼみには毒があり、アジサイの葉にいかたつむりでさえ葉は食べないようです。

梅雨時期を涼やかにしてくれたアジサイの季節もまもなく終わります。いよいよ夏本番です。





外国語つなぐ授業

7月14日(金)に、5・6年生が峰浜小の児童とオンラインで交流授業を行いました。
 5年生は将来の夢など、6年生は行ってみたい国などについて、英語で紹介し合いました。



(6年生)

こんにちは。来年は一緒に中学校です。よろしく。




(5年生)

楽しかったです。また交流しましょう。さようなら。

つばき

この夏、一冊分おおきくならう



今日7月21日は「ナツイチの日」と制定されています。ナツイチとは夏休みに一冊、中高生にも文庫を手にとってほしいとの思いから始まったキャンペーンで、「ナ(7)ツ(2)イチ(1)」という語呂からとられたものです。

私が小学校の時、夏休み直前の図書室の貸し出し時期が来ると、ワクワクしていたものです。よく手に取って読んでいたのが「棕鳩十全集」や「ファール昆虫記」、「シートン動物記」でした。中でも「シートン動物記」の「オオカミ王ロボ」は今でも記憶にあります。

オオカミの群れのリーダーであるロボは、自分の妻であるブランカが人間の仕掛けたワナにかかり殺されたことで冷静さを失い、自分も人間に捕らえられてしまいます。ロボは人間から与えられた食べ物も水も口にするのを拒否し、死んでしまいました。物語当時、この本を読んだ群れのリーダーとして読書感想文を書いたことを思い出します。


その後、中学校のときは星新一などのSF小説に、高校では北杜夫の「どくとるマンボウ」シリーズを、大学では武者小路実篤や遠藤周作、太宰治など様々な作家の作品に触れ、現在は宮本輝にどっぷりとはまっています。

携帯ゲーム、スマホなどない時代、活字や挿絵から、頭の中にロボの姿や舞台となるアメリカの牧場を思い描きながら、シートン動物記の世界に浸ってしまいました。そのせいか、今でも本を読むと没頭してしまいます。困ったことに、その本の世界観からしばらく抜け出すことができません。とは言え、読書には様々なよい効果があるとされています。

文化庁が二〇一八年度に実施した「国語に関する世論調査」によると、一カ月間に一冊も本を読まないという人は、全体の約半数にのぼるそうです。二人に一人は本を読む習慣がないというのが現状です。

「この夏、一冊分おおきくならう」

これは今年のナツイチの本は心の滋養食です。明日から始まる夏休みは、本に触れる時間をもっと増やしたいです。



オオカミの王、ロボ